



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 317 Mai 2017

NPO法人 神戸日独協会

〒651-0087

神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館 19F

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE GESELLSCHAFT KOBE

International House Kobe 19F

Goko-Dori 8-1-6 Chuo-Ku

651-0087 KOBE/JAPAN

神戸日独協会2017年度プロジェクト

「神戸再発見～日独二つの視点、二つの理解」について

すでに前号にてお知らせしましたが、神戸日独協会は、若者のグループGJG (Gruppe Junger Generation)を中心に新プロジェクト「神戸再発見～日独二つの視点、二つの理解」を企画しました。

GJGは神戸日独協会創立70周年を記念して、日独の若者による「現在の神戸」を実体験する共同活動を通じて、相互の異文化理解から現在の神戸の文化的特質を発信する「神戸案内」冊子の作成を企画しました。そのために、見慣れている神戸の街、神戸での歳時、神戸での生活等を日独の若者と一緒に神戸の街を歩き、見て、感じよう。そして異文化の観点から話し合い、理解し、「現在の神戸」を再発見しようと、2012年11月から兵庫のドイツ語圏研修生・留学生と共に毎月日独の若者との「神戸再発見」を行ってきました。この神戸再発見はこれまで39回を重ねてきました。活動の報告は毎回会報で行ってききましたが、冊子に結実させるには至っていません。

「神戸開港150年」の今年、開港による神戸での日独交流150年を記念して、GJGは「神戸再発見～日独二つの視点、二つの理解」を企画しました。幸いにもこの企画は2017年度の兵庫県国際交流協会「民間国際交流事業助成金」に採択されました。

このプロジェクトの目的は、多くのドイツの若者に神戸へ来てもらい、そして日本の若者と一緒に神戸で生活し、相互理解を深めることです。そのために「今の神戸」を地元から発信します。

プロジェクトの成果は、既存のガイドブックとは異なるアプローチによる日独若者の異文化理解に基づく「神戸案内」を作成し、神戸の若者や留学生のみならず、ドイツ語圏の大学、独日関係機関・団体へも発信し、地域から発信する国際交流に貢献したいと思います。

GJGは、このプロジェクトに日独文化交流に興味・関心のある方の参加をお願いします。また、このプロジェクトには歴史・伝統等に対する年長者の知見・経験が不可欠です。若者に限らず多くの会員のご参加をお願いいたします。

2017年度通常総会・会員懇親会のお知らせ

すでに前号にてお知らせしましたが、NPO 法人神戸日独協会は2017年度通常総会を下記の要領にて開催いたします。

総会後には会員懇親会を開催し、会員の皆様と楽しい時間を過ごしたいと思っております。

総会と会員懇親会に、より多くの会員のご出席・ご参加を心よりお待ちしております。

2017年度通常総会

日 時： 2017年5月28日(日) 16:00～17:00

会 場： ユーハイム神戸元町本店ホール(3階)

(神戸市中央区元町通1-4-13 TEL 078-333-6868)

※ 会員の皆様には「総会開催案内」と「総会資料」を同封しお届けします。

ご出・欠席のお返事は同封のハガキにて5月23日(火)までをお願いいたします。

正会員でご欠席の方は、委任状のご提出をお願いいたします。

会員懇親会

日 時： 2017年5月28日(日) 17:10～19:00

会 場： ユーハイム神戸元町本店ホール(3階)

会 費： 4000円

会費は同封の振込用紙で郵便局にてお振込み下さい。領収書は当日会場にてお渡しいたします。

申 込： 5月23日(火)まで事務室へメール・電話・ファックスでお申し込みください。

2017年全国日独協会連合会総会報告

神戸日独協会会長 柘田義一

今年度の総会は、2017年4月21日(金)に東京六本木「富士フィルムホールディングス株式会社社会議室」にて開催され、全国から27の協会が参加し、神戸日独協会からは柘田会長が出席しました。古森重隆連合会会長、フォン・ヴェアテルン大使のご挨拶に引き続き、2016年度決算案、2017年度予算案、各種規定・規約の改正案が審議・承認されました。2018年度総会は石川日独協会、2019年度は新潟日独協会の主管で開催されることも決まりました。審議・承認事項の詳細及び参加協会の報告概要は協会事務室にてご覧ください。

午後には「インダストリー4.0」に関する講演があり、夜には大使館公邸にて懇親パーティーが開かれました。

神戸日独協会 ドイツワインの会

第4回「ワインの産地を知る」 /Nr.4 Weinbaugebiet

神戸日独協会では、“日常生活の中でワインを楽しめるようになるきっかけづくり”をコンセプトに、日ごろ曖昧にしがちなワインの「いろは」を振り返り、試飲をしながらドイツとその食文化への理解を深める「ドイツワインの会」を開催しています。

第4回目のテーマは「ワインの産地を知る」。講師の松田耕治さん(株式会社ドイツ商事/ローテ・ローゼ代表取締役社長)より、地理、地質、気候などに触れながら、ドイツでワインが生まれる所について解説いただき、試飲をします。また今回は特別に、松田さんがこの4月にドイツ訪問した際に見聞した最新ドイツワイン情報も。まさに「ドイツワインの今」が学べる内容です。初参加でも大丈夫です。皆さまお誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください！

日時/Zeit: 2017年6月4日(日)/Sonntag 4 Juni 2017

場所/Treffen: 14:00 神戸日独協会会議室 /JDG Kobe

定員/Teilnehmerzahl: 20名(先着)/ bis 20 Personen

※定員を超えた場合はキャンセル待ち

費用 /Kosten: 2,000円/2,000 Yen(会員:1,800円/Mitglied 1,800 Yen)

※締め切り日以後にキャンセルされた場合、後日料金を請求いたします。

ご了承ください。(締め切り日の申込者数でワインを発注するため。)

申込/Anmeldung: 2017年5月30日(火)まで /Bis Dienstag 30. Mai 2017

Tel: 078-230-8150 E-mail: info@jdg-kobe.org

※初参加の方は、お申し込み時にお知らせください。(テキスト準備のため。)

※会報3月号にて第4回の開催日を5月28日とお知らせしましたが、同日に通常総会が開催されるため、一週間日延べをして6月4日の開催ですので、ご注意ください。

実行委員として神戸日独協会の活動に参加しませんか

神戸日独協会の主要な年間の活動は総会及び理事会によって決定されますが、日頃の活動は実行委員及び会員によって行われています。実行委員は定款上の役職ではなく、会員のボランティアによるものです。毎月第3日曜日に実行委員会を開催し、会員の方々が希望するあるいは実行委員のアイデアによる催し物を企画し、準備し、実行しています。神戸日独協会は会員の皆様の積極的なご支援を必要としています。

次回の実行委員会は5月21日(日)15時より協会会議室にて開催しますので、奮ってご参加ください。

第161回ドイツ語談話室

日時：2017年4月15日(土) 14-16時

場所：トランプ論

今回の司会はドロテア合田さんが担当され、アメリカ大統領トランプ氏の言動が当初よりは少しましになり、ある程度その骨格や方針が見え始めてきたと思うと話された。

次に参加者がトランプ大統領についての見方や印象を話した。

—トランプは決めるのも速いが、決めたことを変更するのも早く、全く信頼性に欠ける。

—最初はアメリカファーストばかり言っていたが、ヨーロッパと協調の必要性も判ってきたようだ。

—トランプ政権要員の多くが(2000人以上)まだ決まっていなく、政権としてフル稼働していない状態である。暫くは成り行きを見守るしかない。

—トランプ大統領の特徴は、政治家ではなく、ファミリー企業のボスである事だ。家族ぐるみで商売をしているような気持なのだろう。

—トランプは、良し悪しは別として、力強さを誇示しようとしている点が特徴だ。

—トランプ大統領のシリア攻撃は、軍需産業を喜ばせて、軍需関連株を押し上げている。

—日本は中国や北朝鮮問題があり、トランプ大統領の方針に追従するしかないように見える。

—トランプ氏は、アメリカの新しいタイプのシェリフのように見える。

—人種差別的な発言を続けるトランプ氏がそれでも受けるのは、人間の心の奥底には、差別したい心理があるからではないか。

—トランプは、きちんとした政策も持っていないし、責任感も持っていない。しかし、酒もたばこもやらず、元気でやる気満々にだけは見える。

—政権発足後今までに、少しは周りから学んでいっているのではないか、とも見える

—トランプとプーチンの関係が今後どうなるのか、とても興味がある点だ。

今後のドイツ語談話の予定

第162回 2017年5月20日(土) 14-16時 テーマ：福島原発問題の今後

第162回 2017年6月17日(土) 14-16時 テーマ：私の好きな木と植物

Deutsche Gesprächsrunde Protokoll der 161. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag 15. April 2017, 14 bis 16 Uhr

Thema: „Trumpologie“

Dieses Mal hatte Frau Dorothea Goda die Gesprächsleitung und sagte, es sieht so aus,

als ob die Handlungen des amerikanischen Präsidenten Donald Trump sich im Vergleich zu früher etwas gebessert hätten, seine Taktiken und Handlungsstrukturen sind klarer geworden.

Bei der Gesprächsrunde kam es unter anderem zu folgenden Wortmeldungen.

-Ein Teilnehmer denkt, dass Donald Trump seine Entscheidungen relativ schnell trifft, sie aber auch schnell wieder ändert. Daher ist es schwer, ihm zu trauen.

-Eine Teilnehmerin merkte an, dass der Präsident am Anfang stets von „Amerika First“ sprach, er scheint aber zu erkennen, dass ein Zusammenwirken mit Europa auch unerlässlich ist.

-Ein Teilnehmer erwähnte, dass viele führende Beamtenpositionen der Regierung (über 2000 Stellen) noch nicht besetzt sind. Das heißt, dass die Regierung Trump noch nicht auf vollen Touren läuft. Man muss hier noch abwarten, wie sie sich weiter entwickelt.

-Ein Teilnehmer denkt, dass Donald Trump seinem Wesen nach nicht ein Präsident sondern eben der Chef eines Familienbetriebs ist. Er betreibt auch die Regierung wie ein Geschäft zusammen mit seiner eigenen Familie.

-Nach der Meinung einer Teilnehmerin versucht die Regierung Trump vor allem Macht zu zeigen, ganz abgesehen einmal von der Frage, ob das gut oder schlecht ist.

-Ein Teilnehmer glaubt, dass der Angriff der USA gegen Syrien die Kriegsindustrie freut und auch deren Aktien in die Höhe treibt.

-Wegen der Probleme mit China und Nordkorea hat Japan wohl keine Alternative als der Politik der USA zu folgen.

-Eine Teilnehmerin findet Donald Trump verhielte sich wie ein neuer „Sheriff“.

-Obwohl der Präsident immer wieder diskriminierende Aussagen macht, gelangte er zu großer Popularität. Ein Teilnehmer glaubt, dass das wahrscheinlich daran liegt, dass viele Menschen in ihrem Herzen zu Diskriminierungen neigen.

-Ein Teilnehmer denkt, dass Donald Trump weder eine richtige Politik verfolgt noch Verantwortlichkeit zeigt. Aber er trinkt keinen Alkohol, raucht nicht und tritt energisch und mutig auf.

-Eine Teilnehmerin findet, dass Donald Trump mittlerweile doch von der Umgebung gelernt hat.

-Ein Teilnehmer ist gespannt, wie sich das Verhältnis zwischen Trump und Putin entwickelt und wie ihre zukünftigen Handlungen aussehen werden.

Nächste Treffen:

Samstag 20. Mai 2017, 14 bis 16 Uhr Thema: Das Problem Fukushima

Samstag 17. Juni 2017 14 bis 16 Uhr Thema: Meine liebsten Pflanzen

会報新シリーズ「ドイツ、わが愛」

神戸日独協会には、ドイツに対して様々な想い・思い出をお持ちの方がいらっしゃると思います。留学経験がある、仕事での滞在経験がある、あるいはワインや料理が好き、音楽が好き、歴史が好き、メルヘンが好き・・・そんな会員の皆さまそれぞれの「ドイツへの愛」を、会報を通じて紹介・発信したく、新シリーズ「ドイツ、わが愛」としてスタートいたします。連載は数珠つなぎで、執筆者には次回執筆者を指名いただきます。ドイツへの愛を、みんなで語り合いましょ！

第1回 Spargel 狂想曲

会員 高山 眞由美

ドイツの春の味覚、Spargel。GWにドイツに行った人からその美味しさを聞いたのが事の始まり。それまでドイツのレストランとかで特別メニューぽく掲示されていたけど、なんとなくスルーしていた。白アスパラガスは缶詰とか瓶詰でお目にかかっていたが、あのぐんにやりした食感や水臭さが好きではなかった。でも、試しに、ミュンヘンのラーツケラーで言われた通り注文してみた。

白い長皿がテーブルに置かれたとき、その大きさと長さに驚愕。親指以上の太さがあり、30センチくらいある長さの Spargel が 1 ダースぐらい盛られていたのだ。ナイフを入れるとすくっと切れ、食べると緑のアスパラガスのように青臭くは無く、爽やかな風味と歯ごたえ、そしてほのかな甘みがある。

その日から、会う人に Spargel の美味しさを語るようになった。手紙にも書いた。ありがたいことに、友人や知人からインスタントの Spargel のスープやオランダージュソース、Spargel の専用のピューラーなどをお土産に頂いた。ドイツから Spargel を持ち帰る土産話も伺った。アスパラガスの苗をもらった。しかし、土づくりに3年かかると聞いてあきらめた。

Spargel のイベントがあると聞けば、出かけ、ドイツ料理店以外にも行った。シェフから美味しい下拵えも伺った。残念な話として、とあるところのドイツの朝イチで採れた Spargel 食べ放題というイベントに行ったのだが、フルコースのお肉などを頂いた後に提供されたので、その前にお腹いっぱいになってしまい、数本しか食べられなかったのに加え、下拵えが甘かったせいか、ナイフで切りにくく、噛み切りにくかった。それまで、同じテーブルの見知らぬ Spargel 好きの同志とその美味しさをその場の初心者に語っていたのに、一気に無言となってしまった。

そう、Spargel は下拵えが大変である。茎のほうから皮を剥くのではなく、穂先付近から皮を剥くと、筋が残らなくなる。これを怠けると上述の悲劇になる。これを数ダースするのだから、とあるドイツ人妻は春になるとうんざりすると語った。さて、皮はそのまま鍋に入れ、本体と一緒に茹でる(一片のバター、レモン汁、塩も投入)。いい出汁が出るので、茹で汁は濾してブイヨンを足し、翌日のスープにして頂くまでがセット。

そうこうしているうちに、ネットでフランス産の冷凍ものがあると知って取り寄せ、それを語ると、ドイツ産の生の直輸入ものネット販売があると教えてもらい、春の楽しみとしてお取り寄せしていたのだが、原油高とユーロ高で、最初の値段の倍ぐらいになってしまったので、ペルー産に鞍替えし

てしまった。

日本でも、最初は百貨店で国産の大きな Spargel と出会うことができるようになったなあと思っていたら、最近はスーパーで気軽に買えるようになった。白アスパラガスは光を当てないように土を被せていくという方法で作られていて、収穫も一苦労らしいのだが、日本では廃坑跡で作られているらしい。もうすぐ旬が始まるので楽しみである。

会報新シリーズ リレーエッセイ「ドイツ語学習上達法」

「学ぶの基本は真似ぶから」—できる人を真似ることこそ上達の近道、などと学校でも職場でもよく言われました。ドイツ語を学ぶ中で、できる人はどんな勉強をしたのか知りたいと思ったことはありませんか？新シリーズ「ドイツ語学習上達法」では、皆さんのドイツ語学習方法やそれにまつわるエピソードなどを紹介。執筆者が次回の執筆者へと数珠つなぎをするリレーエッセイです。自身の振り返りの機会として、学習のヒントを探す場として、あるいはこれから学ぼうとする若者たちへメッセージとして、皆さまの「ドイツ語学習上達法」を紹介いただきたく、新シリーズのスタートです。

永遠の片思い、ドイツ語

理事 日下 澄子

本当は皆さんの勉強方法を知りたかったのですが、一番目は私が書くことになってしまいました。私のドイツ語学習の道を一言で表すと「永遠の片思い」。勉強を始めた18歳の春から三十路も半ばの今までずっと憧れの存在で、成就していない、片思いのようです。そんな私がドイツ語とどう触れ合ってきて、現在どんなアプローチ(勉強)をしているのか。

始まりは高校卒業間際の2月、英語の先生に「(西洋史を専攻するなら)第二外国語はドイツ語にしましょう。一緒に勉強しましょう。」とお誘いを受け、友人たちが春休みを満喫中に私は毎日ドイツ語学習のために学校へ通っていました。ドイツ語への恋の芽生えです。

大学では背伸びして週3回の会話クラスを履修し大苦戦。今思えば「落ちこぼれ」です。それでも先生に相談してなんとかミュンヘンへの語学研修プログラム参加権を手にし、Gastmutterと二人暮らしというドイツ語にどっぷりの生活を経験しました。朝食中はGastmutterによる発音チェック&指導(ü が苦手でした)、通学中もドイツ人に果敢に話しかけ、出会った人たちやGastmutterと放課後を満喫。つたないドイツ語で一ヶ月間、夢のような毎日を過ごしました。

3回生からは外国書講読としてドイツ語または英語が必修で、自分ができない方だと自覚があっても果敢にドイツ語を選択。3回生は私一人で友人ゼロ、予習も苦しく厳しい授業でした。孤独と落ちこぼれの自覚、予習に追われる日々。しかしめげず4回生でもドイツ語講読を履修しました。社会人になりドイツ語に触れる機会がめっきりなくなっても、Gastmutterとの文通と再会の夢からドイツ語会話クラスを受講するも、日常的に使わないゆえに挫折。近づいては離れの繰り返し。ドイツ語とご縁があるような無いような、未だに片思い。現在、柘田先生の講読クラスを受講中で

す。

現在の勉強方法は、NHK ラジオ「まいにちドイツ語」テキストを通勤バスの中で音読、仕事の始業時間までの数十分は講座の予習です。本文をノートに書き写し、単語の意味をメモしたり構造を確認したり。悩みは、単語を調べるだけでも苦戦していて復習に手が回らないこと。きちんとした文法が頭に入っていないので、余計に苦戦している気がする。しかし文法初級クラスには通えず、独学は既に挫折の繰り返しのため、どうしたものか悩み中です。皆さんはどのように勉強していますか？Hilf mir！

ハンブルクレポート

理事の北村美里さんが昨秋よりハンブルクに滞在しています。北村さんに観光案内にはない「Hamburg heute」を随時レポートしていただきます。

Nr.1 ハンブルクの春と散歩スポット

皆さまこんにちは。神戸にも心地よい季節が訪れていることと思います。私は今、北ドイツの港町ハンブルクにいます。これから少しずつハンブルクの様子をお届けできればと思います。

ハンブルクは、ドイツ第二の人口を擁する大都市ながら「水と緑の都」とも呼ばれる自然豊かな街でもあります。エルベ川を抱き、街の中心部にはアルスター湖そして水路・運河が広がっています。また、地図を見なくても歩いていてもすぐに公園、緑地に行き当たります。ハンブルクに来てから、私はすっかり散歩が趣味になりました。

そんなハンブルクでは、3月頃から寒暖を繰り返しながらも春の気配が感じられるようになってきました。春と言えば日本では桜、私もさすがにこの時期は桜が恋しくなるかも…とと思っていましたが、ハンブルクでも様々な場所で桜に出会うことができます。4月の始めには友人とお花見もしましたよ！この時期ひとたび散歩に出れば、街路樹や公園の木々の若々しい緑、チューリップやパンジー、水仙、タンポポなど色とりどりの花、そして小鳥のさえずりを楽しむことができます。イースター前の何週間かは卵などの可愛い飾りも街のあちらこちらに見かけました。

なかでも特にお気に入りの散歩スポットは、Planten un Blomen、Eilbekkanal、そしてエルベ川沿い。Planten un Blomen は低地ドイツ語で「植物と花」を意味するそうです。日本庭園やバラ園などを含む広大な公園で、どの季節もそれぞれの表情で楽しませてくれる私の一番好きな公園です。Eilbekkanal はアルスター湖の東側を流れる運河です。川の様子を楽しみたいときは北側、緑あふれる散歩道を楽しみたいときは南側を歩いています。そしてエルベ川沿いは、船の駅 Neumühlen(バスでも行けます)を起点に、階段を上れば緑豊かな公園を、そのまま西方向 Teufelsbrück へ歩くと砂浜を楽しめます。

皆さまもぜひ春のハンブルクを訪れてみてください。ただし、お天気は気まぐれ。折りたたみ傘は忘れずに。

日独若者の「神戸再発見」

Gemeinsam Kobe neu entdecken

第38回 竹中大工道具館訪問に参加して

梅田 恭成

初めて神戸日独協会のイベントに参加いたしました梅田恭成です。

先日の竹中大工道具館では今まであまり意識することなく触れていた色々な「木」を改めて感じる素晴らしい機会になりました。入館した瞬間から木の良い香りが漂い、博物館の中には色々なデザインの椅子や、神社仏閣などでみられる建築様式などを見ることができました。それらを見ていく中で、木でできた製品はシンプルかつ木目が優しいデザインとなっていて、色を塗らずともそれだけで素晴らしい作品となっているように私は感じました。

館内には木を削りお箸やスプーンなどを創作できる教室もあり、色々な楽しみ方ができる素敵な場所でした。

第40回 神戸メリケンパーク散策／

40. Treffen: Spaziergang durch den Meriken-Park

今年新たに改修された港町神戸にとって代表的な場所、メリケンパークを散策してみませんか。老若男女問わずご参加いただけます！

Diesmal lädt die Gruppe Junger Generation der JDG Kobe Alt und Jung zu einem Spaziergang durch den neu gestalteten Meriken-Park ein. Dieser Park ist eines der Wahrzeichen des Hafens von Kobe.

■日にち／Zeit: 2017年5月27日(土曜日)14:00-17:00 / 27.5.2017 (Samstag) 14.00 – 17.00 Uhr

■場所／Ort: 14:00 神戸ポートタワー1F 入口前集合/Treffpunkt: Vor dem Eingang zum Port Tower (Erdgeschoss)

17:00 イベント終了 神戸港震災メモリアルパークで解散/Der Rundgang endet am “Port of Kobe Earthquake Memorial Park”.

■予定／Rundgang: メリケンパーク、隣接するポートタワー、神戸海洋博物館と館内に設置された企業ミュージアム・カワサキワールド、神戸港震災メモリアルパークを散策します。

Meriken-Park – Port Tower – Kawasaki-World – Port of Kobe Earthquake Memorial Park

■費用／Kosten: 入場料(神戸海洋博物館・カワサキワールド&神戸ポートタワー共通券)
大人(高校生以上)1,000円 小人(小・中学生)400円

Eintritt für den Port Tower und für Kawasaki-World: Erwachsene: 1000 Yen, Kinder und Jugendliche bis 15. Lebensjahr: 400 Yen

■申込: 2017年5月24日(水曜日)まで/Anmeldungen bis spätestens Mittwoch 24.5.2017

Tel: 078-230-8150 E-mail: info@jdg-kobe.org

事務室からのお知らせ

お詫び

前号にて協会事務室を5月1日と2日に閉室するご案内を編集の最終段階で欠落してしまい、御案内できませんでした。会員の皆様にはご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げます。

会報発送ボランティア募集

総会資料および会報の発送を手伝ってくださる方を募集しております。発送予定日は6月8日(木)です。お手伝いいただける方は、事前に事務室へご連絡(TEL/FAX 078-230-8150)の上、12時半頃事務室にお越し下さい。

これからの神戸日独協会の催し

日時	催し	会場	申込〆切 など
5月20日(土) 14:00~	第162回 ドイツ語談話室	神戸日独協会 会議室(19階)	当日参加可
5月21日(日) 15:00~	神戸日独協会 実行委員会	神戸日独協会 会議室(19階)	当日参加可
5月27日(土) 14:00~	日独若者の「神戸再発見」 第40回神戸メリケンパーク散策	メリケンパーク	5月24日(水)まで
5月28日(日) 16:00~	2017年度通常総会 会員懇親会	ユーハイム 神戸元町本店ホール	5月23日(火)まで
6月4日(日) 14:00~	「ドイツワインの会」 第4回「ワインの産地を知る」	神戸日独協会 会議室(19階)	5月30日(火)まで